

あーかす

米子医療センターマガジン#45
July 2024 (令和6年7月号)

教えて! ドクター

リンパ浮腫

特集

能登半島地震における 広域看護師派遣を経験して

各診療科紹介 小児科

クリスマス・プレゼント

感染管理認定看護師に認定されました

看護週間のイベントを終えて

2024年(令和6年度)診療報酬改定

マイナ保険証の利用について

第57回日本痛風・尿酸核酸学会の優秀演題賞を受賞して

ホットNEWS／鳥取県知事より「新型コロナウイルス 感染症対策に係る感謝状」を頂きました

地域医療連携室の掲示板

Enjoy! 学生 LIFE



■ contents ■

- 03 教えて!ドクター リンパ浮腫
- 04 特集
能登半島地震における
広域看護師派遣を経験して
- 06 各診療科紹介 小児科
- 07 クリスマス・プレゼント
- 08 感染管理認定看護師に認定されました
- 09 看護週間のイベントを終えて
- 10 2024年(令和6年度)診療報酬改定
- 11 マイナ保険証の利用について
- 12 第 57 回日本痛風・尿酸核酸学会の優秀演題賞を受賞して
- 12 ホットNEWS／鳥取県知事より「新型コロナウイルス 感染症対策に係る感謝状」を頂きました
- 13 地域医療連携室の掲示板
- 14 Enjoy! 学生 LIFE



患者さまと職員が向き合った姿で、患者さま中心の医療提供とYONAGO(米子)の「Y」、MEDICAL(医療)の「M」、CENTER(センター)の「C」の文字を、まごころ、信頼、安心、良質の医療をイメージする「ハート」に組み合わせ「米子医療センター」の明るく元気な姿を表しています。

あーかす

あーかす(Arcus)とはラテン語で「虹」を意味し、英語のArc(弓、橋)+Us(私たち)で「私たちが地域の架け橋になる」という意志を込めてタイトルとしました。私たちの持ついろいろな表情を、地域の方々や医療関係者に広く知って頂き、絆を更に深める情報を掲載してまいります。

教えて!
ドクター

リンパ浮腫

胸部・乳腺外科
万木 洋平



1.リンパ浮腫ってなあに？

みなさんは「リンパ浮腫」をご存じでしょうか。「リンパ」とは「リンパ液」のことを指し、血管からしみ出した血液の一部である「血しょう」に、蛋白質や老廃物、異物などが混ざったものです。このリンパ液は、体の隅々から「リンパ管」という細い管を通して心臓の近くの太い静脈に流れ込みます。またリンパ管の要所には「リンパ節」という関所があり、細菌などの異物が流れてくると免疫細胞がこれと戦います。一方で「浮腫」とはいわゆる「むくみ」のことです。つまり「リンパ浮腫」とは、なんらかの原因により「リンパ液」の流れが妨げられ、体の一部（おもに脚や腕）にリンパ液が貯まってむくんでしまった状態をいいます。

2.リンパ浮腫の原因は？

では「なんらかの原因」にはどのようなものがあるのでしょうか。それは主に原発性（生まれつきリンパ管が十分に発達していなかったり、機能が十分でないもの）と、続発性（乳がん・子宮がん・卵巣がん・前立腺がんなどの「がん」の手術でリンパ節を切除したり、放射線治療でリンパ管・リンパ節がダメージを受けたもの）に分けられます。そして9割以上が続発性です。

3.リンパ浮腫の症状は？

リンパ浮腫になると、腕や脚のだるさ、重さ、関節の曲げにくさなどが生じ、ひどくなると日常生活に支障をきたすようになります。また「リンパろう」といって、リンパ液が皮膚から漏れ出てくることもあります。そして皮膚のバリア機能（細菌などの外敵が皮膚から体内に侵入するのを防ぐはたらき）が低下するため、「ほうかしきえん蜂窩織炎」という細菌感染を起こしやすくなります。蜂窩織炎はしばしば入院治療が必要となるほか、高熱や血圧の低下など重篤な状態になることもあります。蜂窩織炎は、リンパ浮腫患者さんの約半数が一度は経験すると言われています。

4.リンパ浮腫の治療と リンパ浮腫外来って？

リンパ浮腫は「完治」が難しく、前記の症状をおさえることで支障なく日常生活を送れるようになることが治療の目標になります。治療の基本には「スキンケア」（皮膚を清潔に保ち、保湿を心がける）、「リンパドレナージ」（医療者や患者さん、ご家族の「手」によりリンパ液を流すマッサージ）、「圧迫療法」（包帯やスリーブ、ストッキングなどを着用してリンパ液の流れを促進する）、「運動療法」（筋肉や関節を動かすことによりリンパ液の流れを促進する）の4つがあり、これらをまとめて「複合的治療」（複合的理学療法）と呼んでいます。

当院のリンパ浮腫外来は、患者さんの状態を定期的にチェックし、それぞれの患者さんにあわせた「複合的治療」を行い、患者さんごとに日常生活や自宅での治療に関するアドバイスをするなど、多彩な内容となっています。これらは専門的な研修を受けた医師、看護師、リハビリスタッフが連携して行っています。そしてリンパ浮腫外来に通院している患者さんからは、「腕が細くなりいろいろな洋服が着られるようになった」、「脚が軽くなって歩きやすくなった」、「今まで繰り返していた蜂窩織炎が起こらなくなった」などの喜びの声を頂いています。

「自分はリンパ浮腫かな?」と思われたら、まずはがんの治療を担当した主治医や、かかりつけ医にご相談ください。そしてその医療機関での対応が難しければ、いつでも当院へ（可能なら紹介状を持って）お越し下さい。リンパ浮腫で悩む患者さんがひとりでも少なくなることが、当院リンパ浮腫外来スタッフ一同の願いです。



手によりリンパ液を流すマッサージ。
通常のマッサージとは違って強くなく、やさしくリンパを流していきます。

能登半島地震における 広域看護師派遣を経験して



元 米子医療センター 手術室 看護師長
葛原 昭彦
(現 鳥取医療センター 看護師長)

はじめに、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回、私は令和6年2月10日より2月17日まで、厚生労働省依頼の広域看護師派遣として、石川県輪島市市立輪島病院で勤務しました。私は第7班の派遣として招集されました。第7班は看護師22名(男性6名、女性16名)が招集され、NHOからは4名(男性3名、女性1名)の招集がありました。現地までの移動に2日間を要するため、実質の勤務日は4日間でした。市立輪島病院に到着すると、玄関の自動ドアは壊れ、地面には亀裂が入っており、地震の被害の大きさを感じました。

市立輪島病院は本来、病床数175床の4病棟で整備されていました。しかし、被災のため現在は2病棟に集約され、入院患者は20人程度でした。入院患者は自立から軽介助の方が大半で、重症患者はライフラインの整った金沢市周辺の病院に入院されていました。派遣看護師の人員配置は感染症病

棟9名、地域包括病棟6名、発熱外来(一般外来)7名となっており、まずはメンバーたちと配置場所を検討しました。看護師22名はそれぞれ経験が異なり、自分の強みを活かして勤務できるように希望で配置を決定しました。私は自身の経験から、感染症患者、入院患者の対応が行えるので感染症病棟を希望しました。

感染症病棟の派遣看護師の勤務は日勤、遅出、準夜、深夜の4シフトで勤務体制が構築され、派遣看護師人数分の4日間のシフトが組まれており、その中から選択し決定しました。私のシフトは日勤、日勤、日勤、準夜に決まりました。日勤勤務は職員看護師2名と派遣看護師6名の勤務体制でした。職員看護師2名のうち、1名が新人看護師で日勤リーダーをしている日もありました。夜勤勤務は職員看護師2名と派遣看護師1名の3名で勤務しました。入院患者は新型コロナ感染症患者が1名、新型コロナ感染症隔離解除後の患者さんが6名で計7名が療養



NHO4名 輪島病院玄関にて



感染症病棟派遣看護師9名



移乗介助



透析室(派遣看護師の宿泊スペース)



口腔ケア

されていました。職員看護師の業務は、バイタルサイン測定、輸液管理など電子カルテで実施入力する業務を中心に、派遣看護師は入院患者のケア計画を作成し、計画に沿って実施しました。内容は、処置（褥瘡処置、軟膏処置、血糖測定、インスリン注射）、清潔ケア（口腔ケア、洗髪、全身清拭、手足浴、陰部洗浄）、日常生活援助（シーツ交換、食事セッティング、排泄介助、リハビリ、気分転換活動）などです。市立輪島病院では、上下水道が復旧しておらず、水はポリタンクから使用しました。ケア用のお湯はポリタンクの水をポットで沸かし、水と混合して適温のお湯を作りケアで使用しました。また、水分を排水することが出来ないで、使用後の水分は凝固剤で固めてゴミに廃棄するか、尿取りパッドなどに吸収させて廃棄しました。院内のトイレも使用できず、患者さん、職員ともラップボンという簡易トイレを使用しました。ラップボンは凝固剤を使用することで排泄物を凝固させ、1回ずつ排泄物を袋詰めにして廃棄することができる簡易トイレでした。洗髪、手足浴など清潔ケア実施後、患者さんからは「気持ちよかった。ありがとう。避難所にいる時も髪を洗ったりできなかった」と笑顔で感謝され、清潔ニーズの高さと清潔ケアの必要性を改めて感じました。

職員の方たちは被災時の状況を詳細に話して下さいました。「立ってられないほどの揺れで、勤務していたスタッフが飛び跳ねていた。揺れがおさまり患者さんの安全確認に行ったが病室のドアが開かなかったり、病室の中はベッドのストッパーが全て外れており、患者さんの位置がバラバラになっていた」「HCUの天井からは水が漏れ、天井が崩れ落ちてきた」「与薬カートやSPD棚がひっくり返った」「携帯電話が使用できなかったが、LINEで連絡ができた。被災により職員で亡くなった方がいなかったことが救いだ」と当時の緊迫した状況が伺えました。職員の方だけでなく、患者さんも自ら被災時の状況を積極的に話して下さいるのが印象的でした。被災から1か月が

経過し、自分たちの経験を活かしてほしいという思いでたくさん語って下さいました。私たちは職員や患者さんから伺った情報を派遣看護師間で共有しました。その中で、被災された方に寄り添い気持ちを表出できるように関わることも派遣看護師の重要な役割だと認識しました。

派遣期間中は病院内で生活しました。病院から提供された場所は、18床の透析室と、現在使用していない病棟の多床室（4人部屋）が3室でした。第7班は女性が16名と多かったため女性が透析室を使用し、男性は3人ずつ2つの多床室に分かれ居住しました。残りの1つの多床室は、夜勤前の看護師が仮眠できるようにフリースペースとして使用しました。透析室は輪島病院の職員も使用され、また、カーテンがなくフルオープンであったため、気を遣うストレスが溜まる環境でした。食事は非常用食品やインスタントラーメン、パンなどが準備してありました。しかし、味付けの濃い物が多く、食べるだけで喉が渇き水分が必要になるので食事は控えめになりました。トイレは院内にラップボンがあるのですが、凝固剤など資源を使用するため、できる限り職員駐車場に常駐している簡易トイレ車で排泄しました。職員駐車場では職員以外の方も車中泊をしているため、知らない方が話しかけてくるような事例もあり、治安が悪いため必ず2名以上で行くように注意喚起がありました。普段、何不自由なく生活していましたが、水や食料、ライフラインの大切さを実感しました。

今回、広域看護師派遣を経験し、日頃の防災訓練の必要性を再認識しました。自部署においても今回の経験を活かし、スタッフと共にトレーニングし防災意識を高めていきたいと思えます。また、広域看護師派遣にあたって病院から十分な準備をしていただきました。そして、出発、到着の時に温かく送り出し、また、出迎えていただいた職員の方々に感謝いたします。ありがとうございました。



現地の様子など

各診療科紹介

小児科

診療部長 上山 潤一

小児科は、子どもの内科疾患を対象として診断および治療を行う診療科です。また、子どもが健やかに成長・発達するための様々なサポートを行い予防医療としての役割も担います。それでは当科の診療内容について、簡単に紹介いたします。



不安に寄り添いサポートします

当科は、鳥取県西部における小児医療の一端を担っています。主に、新生児から中学3年生までの内科系疾患を対象に、一般外来、慢性外来、専門外来および入院の管理の他に、各種予防接種や小児救急の受け入れも積極的に行っています。また、乳幼児健診/学校検診の精査、生活指導および育児・栄養相談などを通して、子どもやその家族の不安に寄り添いサポートしています。

現在、小児科専門医の3名が常勤医として勤務しています。当院の小児科は、内科のように専門領域が細分化されていないので、それぞれの得意分野（小児の血液疾患・アレルギー疾患・循環器疾患）を活かし診療にあたります。小児科外来は、病院1階にあり、医師の他、専属看護師1名、応援看護師1名、および事務1名で診療を行います。小児科の入院病棟は、病院3階で混合病棟（呼吸器内科、循環器内科、小児科）となっています。

当院小児科の取り扱う疾患は、発熱性疾患が多く、COVID19、アデノウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、ヒトメタニューモウイルス、RSウイルス、パラインフルエンザ、水痘、EBウイルス、エンテロウイルス、カンピロバクター、サルモネラ、マイコプラズマ、溶連菌など、近年、季節を問わず流行となる各種感染症と、その他、自己免疫性疾患および悪性疾患などを鑑別していきます。病名別では、肺炎、細気管支炎、喘息、扁桃炎、脱水症、けいれん、てんかん、川崎病、腎盂腎炎、胃腸炎、伝染性単核球症、ケトン血性低血糖、腸重積、免疫性血小板減少症、IgA関連血管炎、食物アレルギー、食中毒、薬物誤飲、熱中症やアナフィラキシーなど幅広く対応しています。小児救急は、一般に、一次、二次および三次と、地域事情、緊急性や重症度により段階的な体制がとられています。当科への依頼は、鳥取県西部・鳥根県安来圏域からが多く、主に入院治療を必要とする二次救急については、山陰労災病院との輪番制で、近隣の有志小児科医と連携し対応しています。なお、重症度や時間帯により、三次救急病院である鳥取大学医学部附属病院に依頼することもあります。

「痛み軽減」への取り組み

最後になりますが、当科で特に力を注いでいる「痛み軽減」への取り組みについてお伝えします。痛みを伴う処置は、小児領域でも数多く存在します。子どもへの説明では、「痛くないよ」と嘘をつかないようにしていますが、結果として大きなストレスを与えることも少なくありません。当科では、スタッフで意見を出し合い、数年前より近隣に先駆け、痛み軽減のための「次のステップ」へ歩み始めました。緊急性の高い状況は除きますが、定期検査/予定処置の場合は、子どもに対する看護師による事前説明（プレパレーション）に加え、穿刺部位に外用局所麻酔薬（パッチ）の頒布を行います。麻酔浸透に1時間程度を要しますが、重篤な副反応も少なく、期待通りの効果です。本当に痛くない様子です。その結果、処置を待つ親権者を含めた心身のストレスが緩和され、子どもの医療に対する協力性の向上を実感します。「よく頑張ったね」とねぎらう声かけを大切にしながら、今後も、より良い小児医療の実現のため、様々な試みを考えていきたいと思っています。



クリスマス・プレゼント

2023年12月21日(木) 天候:雪

雪化粧した米子の街に、ひとつのサプライズな出来事が…。小児科に、一足早いクリスマス・プレゼントが届いたのです。積み重なるプレゼントの前を、目で追うスタッフのシンクロ率に、思わず笑みがこぼれます。このプレゼントは、日吉津村でのマママルシェ主催や、骨髓バンク普及活動に取り組む、団体『maru+ (マルプラス)』様から頂きました。代表を務める足立さんは、ご自身の経験から骨髓バンクの「語り部(べ)」として命の大切さを伝える啓蒙活動に取り組み、毎年、このように子どもへのお心遣いを続けておられます。足立さんとは、もともとご縁があり、私の当院赴任を知り連絡してくださいました。彼女は、既に新聞等で公表されている情報ですが、指定難病の再生不良性貧血の診断で骨髓移植を受けられました。小生は、初診時(他院)からの担当でしたが、移植時期が小児年齢を超えたこともあり、当院血液内科の但馬史人先生(当時)にご紹介したという経緯がありました。

それでは、プレゼントを紹介します。この時期に間に合わせてくださり、リクエスト以上の奮発大サービスの内容でした。

- ①ガチャガチャ本体 2台(本格的なやつ)
- ②専用カプセル(再利用でエンドレス)、専用コイン、景品などたくさん

③家庭用プラネタリウム

④景品付きクリスマスツリー

ガチャガチャの正式名称は、「カプセルトイ」というそうですが、そのように呼称する人はだれもいませんね。専用コインを入れ、そのハンドルを回すことにより、景品を獲得するあの装置のことです。出てくるカプセルを、周りの大人もドキドキしながら見守ります。小児科外来と病棟のそれぞれに設置することができ、点滴や採血の処置などを頑張った子どものご褒美として、連日活躍しています。次に、家庭用プラネタリウムですが、これも本格的で、室内にしながら満天の星空を眺めることができる優れものです。クラシックやヒーリング音楽も同時に聴くことができて日時や天候に左右されないエンターテインメントとしてイベント時に利用しています。「星取県(ほしとりけん)」である我が鳥取県は、市街地でも条件が揃うとあの天の川もみえちゃいますので、リアルな星空との対比は興味深く感じます。

今回の思いがけないプレゼントに大変感謝しています。がんばっている子どもとその家族をサポートしたいという、足立さんとお仲間の暖かく優しい思いを、大切に届けていきたいとおもいます。



処置室に置かれたガチャガチャ(カプセルトイ)。専用コインを入れてレバーを回すとカプセルが落ちてきます。処置を頑張ったお子さんへのご褒美としてご利用される方が多いです。お子様もこれを楽しみに、処置を頑張って乗り越えます。

感染管理認定看護師に認定されました



4 階病棟
副看護師長
遠藤 萌

認定看護師って？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格。患者さんやご家族によりよい看護を提供できるよう、認定看護分野ごとの専門性を発揮しながら認定看護師の3つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めています。

2022年4月から2023年2月の11か月間、感染管理認定看護師教育課程を受講しました。特定行為研修を含んだB課程を受講し、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「感染に係る薬剤投与関連」の2区分を修了しました。2023年10月に行われた認定看護師審査に無事合格し、2023年11月30日に認定看護師として認定されました。

私が副看護師長として外来配属であった時にCOVID-19の流行が始まりました。日々変化するトリアージ・感染対策の手順化に関わったことが、感染管理に興味を持ったきっかけでした。新興感染症に対応することは初めてで、感染症対策相談係長に日々相談・確認しながら業務を行っていました。多職種が関わる外来では、それぞれが正しく統一した感染対策を行うことの困難さも経験しました。この経験から、より専門的な知識や技術を学び現場で活かしていきたいと考え、感染管理認定看護師を目指したいと考えるようになりました。COVID-19の流行をきっかけに目指した感染管理認定看護師に無事合格できたことを、本当に嬉しく感じています。まずは、兼任として4階病棟で勤務をしながら、病棟内での感染管理に関する問題点の抽出、解決につなげていきたいと考

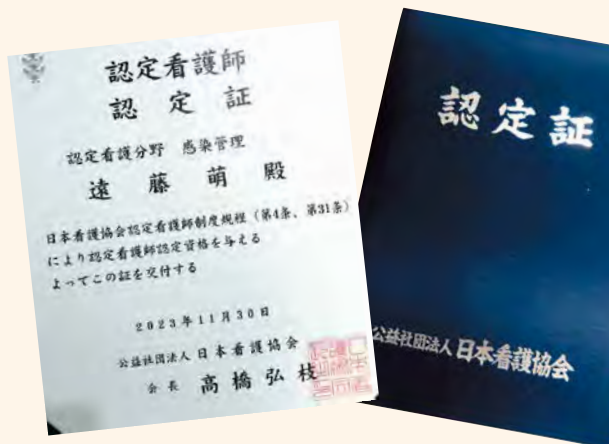
えています。併せて、認定看護師の活動日を中心に、感染対策チーム(ICT)や抗菌薬適正使用(AST)ラウンドへの参加、感染管理認定看護師の院内での役割について学んでいきたいと思っています。また、今年度から多職種から構成される感染対策リンクスタッフ会も発足しました。看護部だけでなく、病院全体で感染対策に対する共通目標を持ち活動できるよう認定看護師としての役割を果たしていきたいと考えています。

「感染管理認定看護師」は、他の認定看護師に比べ難しく、目指しにくい印象があります。しかし、COVID-19の流行を経て教育機関も増え、受講者も増えています。二度と経験することはないと思っていた学生生活は、大変でしたがとても楽しく実りがありました。

今後は感染管理認定看護師として経験を積み、患者さん・ご家族の皆さんに安心してご来院いただけるよう感染防止対策に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



感染管理の視点で医療物品管理状況のラウンドを行っている場面
改善点を根拠と共に、現場にフィードバックしています
(荻 ICN と遠藤 ICN)



看護週間の イベントを終えて

手術室 看護師長
長谷川 里香



21世紀の高齢社会を支えていく為には、看護の心、ケアの心を、私たち一人ひとりが分かち合う必要があります。こうした心を老若男女を問わず誰もがはぐくむきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日に制定されました。

「看護の日」のイベントとして当院では、各部署が患者さんのセルフケアの支援をテーマにしたポスターを作成しました。ポスターの内容は、「消化の良い食事について」「二次性骨折について」「抗がん剤投与後の頭皮と髪のカケア」「脱毛に対するウィッグの使用」「誤嚥性肺炎について」「水分コントロールについて」「地域とのつながりと支援について」でした。また、入院患者さん、外来患者さんへ看護師がメッセージやエールを書き添え、お一人お一人にメッセージカードをお渡ししました。

5月9日～13日までの短い間のポスター掲示でしたが、院内をラウンドすると、病棟デイルームや、ホール、外来待合などポスター

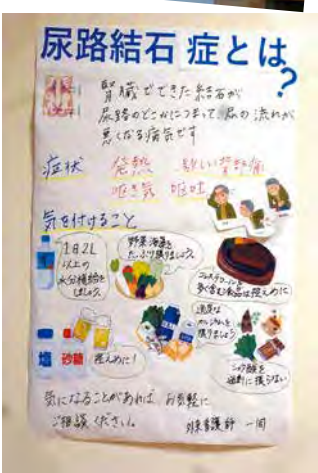
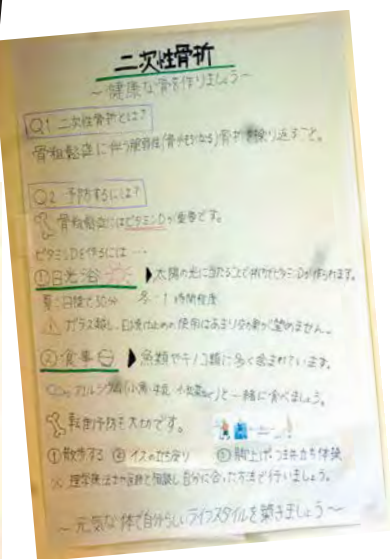
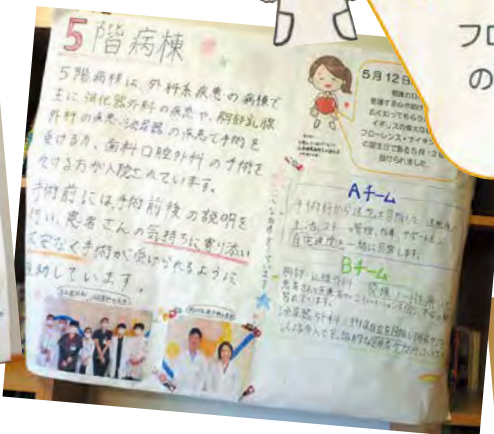
の前で立ち止まって読んでくださる方や、スタッフへ声をかけてくださる方をお見受けしました。また面会のご家族からは感想ばかりでなく日頃の看護師への感謝の言葉やねぎらいの言葉をいただき、とてもうれしく思いました。

コロナ禍から5類へ移行し人の動きも拡大しています。今年度はポスター掲示とメッセージカードの配布になりましたが、次年度は患者さんや地域の方々と触れ合えるような企画を計画していきたいと考えています。



5月12日は看護の日

看護の日は、
看護する心や助け合う心を
広く知ってもらうために、
イギリスの偉大な看護師
フローレンス・ナイチンゲールの
誕生日である5月12日に
設けられました。



2024年(令和6年度)診療報酬改定

診療報酬改定は2年に一度行われており、今年は改定の年になります。
厚生労働省が発表している、本年の診療報酬改定の概要は以下の通りです。

診療報酬改定の基本的視点

- ①現下の雇用情勢も踏まえた人材確保・働き方改革の推進
- ②ポスト2025を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進や医療DXを含めた医療機能の分化・強化、連携の推進
- ③安心・安全で質の高い医療の推進
- ④効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上



入院係長
遠藤 結花

【介護保険施設等との連携推進の評価】

今回の改定は介護報酬改定と同時改定になり、介護保険施設との連携について協力的な体制を構築することが評価されるようになりました。

米子医療センター

- (連携内容)
- ◎急変時の電話相談・診療の求め
 - ◎相談対応・医療提供
 - ◎入院調整
 - ◎退院時の受入れ
 - ◎カンファレンス等の情報共有

連携介護医療施設

【入院時の食代】

食材費等が高騰していることを踏まえ、入院時の食費が見直されました。

令和6年5月まで
1食あたり 640円



令和6年6月以降
1食あたり 670円

【医療DX体制推進の評価】

医療DXとは、マイナンバーカードを利用したオンライン保険証(マイナ保険証)や、電子処方せんといった医療におけるデジタル技術の活用を指します。医療DXの普及を促すために「医療DX推進体制整備加算」や「医療情報取得加算」が整備されました。「医療情報取得加算」は患者さんへのマイナ保険証利用を促すため、マイナ保険証を利用すると医療費が最大20円安くなります。この機会に是非ご活用ください。

(医療情報取得加算)

区分	マイナ保険証利用 (情報取得に同意)	点数
初診	する	1点
	しない	3点
再診	する	1点
	しない	2点

【お知らせ】

本年12月2日より現行の健康保険証は発行されなくなります。12月2日時点で有効な保険証は最大1年間有効ではありますが、当院を受診する際はマイナ保険証をご利用ください。

この診療報酬改定は2024年6月1日から適用されており、5月以前と同じ診療内容であってもご負担額が変わる場合がございます。領収書と併せて明細書をお渡ししておりますが、ご不明な点がございましたらお気軽に医事職員へお尋ねください。

△ご注意ください!
本年12月2日から
現行の健康保険証は
発行されなくなります
※12月2日時点で有効な保険証は最大1年間有効です

**マイナンバーカード
をご利用ください**
今回お持ちでない方は次回ご持参ください

マイナンバーカードの保険証利用がまだの方
利用登録は窓口(カードリーダー)でできます

利用申込受付中!

**マイナンバーカードが
健康保険証として
利用できます!**

申込方法
詳細ページでも
確認できます

医療機関や薬局の受付で
マイナンバーカードを
健康保険証カードリーダーに
置いて本人確認!

「マイナポータル」を
活用して医療機関の
マイナ保険証を
発行・更新・利用状況を確認
することができます。

マイナ保険証の
利用がスムーズに
行われるよう、
マイナポータルを
活用してください。

マイナ保険証の
利用がスムーズに
行われるよう、
マイナポータルを
活用してください。

マイナ保険証の利用について

政府より2024年12月2日から現行の健康保険証の新規発行を停止しマイナ保険証に一本化することが発表されました。

マイナンバーカードはデジタル社会における公的基盤であり、保険証として利用することで、患者さん本人の薬剤や診療のデータに基づき、地域の医療機関の間で情報連携が進み、質の高い医療連携と医療費の適正化につながるなど、患者さんと医療の現場の双方においても大きなメリットがあります。

ここではマイナ保険証の特徴や使用することでの患者さんにおけるメリットについて紹介させていただきます。

大切なお知らせ

2024年12月1日の時点でお手元にある有効な保険証は12月2日以降、最長で1年間(2025年12月1日まで)使用可能です。

また、2024年12月2日以降、マイナ保険証を保有していない方には、保険者から資格確認書が交付されますので、引き続き医療機関へ受診することができます。

マイナ保険証のメリット

マイナ保険証を使用するメリットとして、主に以下の4つが挙げられます。

●より良い医療を受けることができます。

初めての医療機関・薬局でも過去に処方された薬剤や特定健診のデータが自動で連携するため、口頭で説明するよりも正確な情報を医師や薬剤師に伝えられます。重複処方や無駄な検査を抑制することができ医療費の適正化につながります。

●窓口での限度額以上の支払いが不要になります。(高額療養費制度)

入院治療等における高額療養費制度に基づき、医療機関の窓口での限度額を超えた医療費の一時的な自己負担及び保険者への書類申請手続きをする必要がなくなります。

●引越しや転職後もそのまま健康保険証として使えます。

転職や転居等による健康保険証の切り替え更新が不要です。

※新しい保険者へ加入する場合は手続きが必要です。

●マイナポータルサイトから自身の医療情報が確認できます。

自身の薬剤情報や医療費情報を確認することができます。

マイナ保険証の手続き

マイナンバーカードの健康保険証利用には、初回利用時のみ申し込み手続きが必要です。申し込み方法は以下の3通りの方法があります。

●医療機関、薬局に設置している「顔認証付きカードリーダー」で申し込む。

●「スマートフォン」で申し込む。(マイナポータルアプリ)

●「セブン銀行のATM」で申し込む。

米子医療センターに設置している「顔認証付きカードリーダー」からも手続き可能です。

<注意事項>

現在、各種医療証(特定医療費(指定難病)受給者証、市区町村が発行する乳幼児医療証等)については、マイナ保険証への登録ができません。お手数をお掛けいたしますが、各種医療証を医療機関窓口にご提示ください。

看護アシスタント(非常勤)募集中

業務内容 看護補助業務・病室環境の整備・清掃配膳等

待遇 時間給:1,030円

賞与(年間合計額):74,400円

休暇・休日 4週8休 ただし、土日祝年末年始勤務の場合があります

勤務時間:週32時間 週5日以内勤務

問合せ先 米子医療センター 管理課 庶務係長 ☎0859-33-7111(代)



60歳以上の方も
活躍中です。

**未経験でも
大丈夫。**

年齢・性別とも問いません。
お気軽にお問合せください。

第57回日本痛風・尿酸核酸学会の 優秀演題賞を受賞して

臨床検査技師
田澤 千明



この度、第57回日本痛風・尿酸核酸学会に参加しましたので、ご報告します。前回広島で行われた国立病院総合医学会に引き続き、執筆することとなりました。

今回の学会は、鳥取市で開催されました。学生の頃過ごしていたので、懐かしく、また苦手な電車移動がないところには安心感がありました。

演題は、「入院患者の高尿酸血症を発症する因子の組み合わせに関する研究」を口演しました。研究内容は、高尿酸血症を伴う原因の究明について人口知能を用いて解析を行うものです。

この学会は率直に申し上げると、私にとって日々の勉強不足を痛感する苦い経験となりました。想定を超える質問に困惑し、上手く回答できず、不甲斐ない気持ちになりました。口演には慣れているつもりでしたが、まだまだ未熟であると思い知らされました。久留院長とともに臨んだ最優秀賞は逃してしまいましたが、優秀賞をいただくことができました。

懇親会では、久留院長にお疲れ様でしたとお声がけいただき、安堵しました。また、他施設でご活躍されている臨床検査技師の方と交流を持つことができました。日々努力されているお話を伺いながら、私も今回の経験に挫けることなく、少しでも成長できるよう研鑽に励もうとモチベーションが上がりました。

最後になりましたが、ご指導いただきました久留院長並びに、富田臨床研究部長、支えてくださった臨床検査科の皆様には、深く御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ホットNEWS

鳥取県知事より 「新型コロナウイルス感染症対策に係る感謝状」 を頂きました

感染対策相談室長 富田 桂公
感染対策相談係長 荻 幹

6月2日(日)鳥取市のホテルニューオータニに於いて新型コロナウイルス感染症対策に係る鳥取県知事感謝状贈呈式が開催され、県内47団体と10個人が授与しました。当院からは感染制御医の富田医師と荻ICNが病院の代表として出席しました。平井伸治県知事より、「この4年間のコロナとの闘いは、県民、事業主、医療関係者など全県一丸となり全国よりも迅速かつ強力な感染拡大防止と医療的ケア、そして地域社会における不当な差別解消を実現できたことは、鳥取県民のお力であり誠にありがたく衷心より感謝申し上げます」とのお言葉を頂きました。特に、我々医療関係者に関しては、未曾有のコロナと最前線で闘ったことについて感謝すること、また、今回の全県一丸の闘いにより、ネットワークが構築され、今後、新興感染症が生じた場合でも、将来に活かせることを述べられました。

私たち、院内の感染制御に関わってきたチームとしても、県知事のお言葉を賜り、4年間のコロナとの闘いが走馬灯のように頭をめぐりました。まだ、コロナは収束しておらず、パンデミックの余波は残っております。しかし、かならずコロナは収束します。この場をお借りしまして、これまでのご尽力に対して医療センター全職員に感謝致します。



感謝状を代理で受け取った二人



平井県知事を囲む集合写真

地域医療連携室の掲示板

訪問看護師 岡田 悦子
涌田 典子

訪問看護を開設し、9年目を迎えました!

いつも地域の皆様には
お世話になり大変感謝しております。

今回は、訪問看護部門で関わった退院前訪問の一事例を紹介します。

退院前訪問では、退院日に自宅に訪問して療養上の指導を行います。

退院後も入院中の指導や療養環境の調整などが継続できるように、病棟看護師と情報共有しながら訪問看護計画を立てます。がん終末期の患者さんの多くは福祉タクシーで自宅まで移動、訪問看護師が同行し、居室まで安全に移送介助を行います。同時に療養環境整備、介護指導、医療処置の確認、訪問看護ステーション、訪問診療と連携を行い、安心して療養がスタートできるよう支援しています。

事例紹介 :66 歳男性 要介護 3

一度退院を計画したのですが、覚醒状態が悪くなり断念。その後本人の強い希望を汲み、一泊二日で退院になりました。



仕事のことを家族に話しておきたい。3日でいいので帰りたい。

退院前訪問看護 (退院時同行)



妻) 正直家に帰るのは怖いです。でも本人がすごく帰りたいがっている所以を尊重したいです。

退院日、自宅での状況

退院時に福祉用具の搬入が間に合わず、リクライニング車椅子から布団への移動を介助し、いつもの布団でお休み頂きました。血圧は低値で、意識明瞭とは言えませんでした。枕に座布団を重ねて安楽な体制を確保し、妻におむつ交換や痛み止めの使い方、褥瘡予防について指導しました。少しでも安全に経口摂取ができるような体位を指導し、急な症状の変化時は病院へ連絡するよう説明を加えました。



翌日、自宅訪問

呼吸困難や意識レベルの低下はみられず、指導したとおりに痛み止めの交換ができ苦痛増強もなく過ごされました。「ほんの少しだけど食べたいもの(お好み焼き、ラーメン)が口にできた」「確定申告や仕事の話が家族にできた」「一泊だけど帰れて良かった」「(家で過ごす)時間が足りなかった」と、ご本人から満足感が伺えました。

翌日再入院

その後、再入院された翌日に亡くなりました。退院調整時は全身状態が不安定で訪問看護師としては無事家で過ごせるか不安でした。しかし訪問時のご本人のしっかりとした表情と、妻の明るい表情が印象的で支援して良かったなと振り返りました。一泊でしたが医師や病棟看護師と訪問看護師との連携と情報共有が図れたことが退院につながったと思います。



新入生歓迎会を終えて

新入生歓迎会実行委員
57回生(2年生)
林原 那奈



令和6年4月30日(火)に令和6年度新入生歓迎会を開催しました。

今年度は最後の新入生歓迎会ということもあり、学年を超えた交流を図り、新入生が安心して学校生活が送れるようにすることを目的として取り組みました。

企画・運営では、まず在校生へ事前に内容についてアンケート調査し、そして、検討を重ねた結果、学年を超えたグループを編成し、①自己紹介、②ドッジボール大会、③スリッパリレーを行いました。自己紹介では、新入生と在校生に事前に質問したいことや伝えたいことを用紙に記入して当日持参してもらいました。その結果、会話が弾み、最初は緊張していた新入生も笑顔が増え、その後のドッジボール大会やスリッパリレーではグループメンバーと一体となり楽しんでいる様子でした。新入生や在校生の楽しそうな様子を見て、企画・運営は大変でしたが目的を達成することができ良かったです。

新入生はこれから講義や臨地実習など、これまでの高校生活とは違う看護学校での学校生活を送ることになります。不安を感じたり困ったりすることがあれば、私たち2・3年生や先生方も一緒にサポートします。クラスメイトとも協力し支え合い、一緒に楽しく充実した学校生活にしていきたいと思います。



ドッジボール開始!



さあ、ボールの行方は...



自己紹介では会話が弾みました



足でつなぐ!スリッパリレー

防火避難訓練

災害時に医療従事者として 必要と考える行動

58回生(1年生)
池田 流菜



今回の防火訓練に臨むにあたって、まず事前オリエンテーションで火災を起こさないようにするために、ガスコンロの周囲に燃えやすいものを置かないこと、ストーブは寝る前に必ず電源を切ること、寝たばこはしないなど注意することを学びました。そして、実際に火災が起きた場合には周囲に早急に知らせること、初期消火をすること、避難をする時のルールなど改めて確認することができました。

今回の防火訓練を通して、消火栓や消火器が学校のどこにあるのかを知ることができました。自分は寮にいましたが、避難訓練時に火災報知器の音が大きくてとても驚きました。訓練であると分かっているにも驚くので、いざ火災が起きた時に慌てて何も行動できなかったらと不安になりました。

また、消火器は使用したことがありませんでしたが、今回の訓練で使用方法を理解することができて良かったです。消火栓は放水に力も必要でありホースも重く、一人で使用するのは難しいと感じました。使用する際には協力することを頭に入れ、今回習ったことを忘れないようにしたいと思いました。

医療に携わる者として必要なことは、患者さんを第一に考えることだと思います。災害時は自分の足で避難できる方ばかりではないため、高齢者や身体の不自由な方を優先したいと考えました。患者さん全員で避難することは困難であると考えため、避難を待たせてしまう場合もあると思います。その時、不安な気持ちを抱えておられる患者さんに落ち着いてもらうためにも、まずは自分が落ち着くこと、そして状況をしっかりと確認した上で、患者さんに声をかけることを大切にしたいです。また、患者さんを第一に考え優先することは大切であると思いますが、自分の命も守れるように、ハンカチで口を覆う、マスクを着用するなどできることはあると思います。日々の生活においても避難経路を把握する等をし、いざという時に自分が困らないように気を付けたいと思います。訓練はいつも本番だと思って真面目にこれからも取り組んでいきたいと思いました。



防災
学習



事前
学習



消火器を
使った
訓練





米子医療センターガジン

あーかす #45 アーカス July 2024

平成26年1月10日／初刊発行
発行：米子医療センター 〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号

令和6年7月10日／発行

デザイン・印刷／合同印刷株式会社

保存版

外来診療担当表

令和6年7月1日現在

切り取ってお使いいただけます

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
総合内科		山本 光紘	交替医	角田 宏明	山本 光紘	交替医	
呼吸器内科		富田 桂公	富田 桂公	唐下 泰一	池内 智行	唐下 泰一	
				池内 智行	富田 桂公		
	専門 外来		鳥大医師				
消化器内科		香田 正晴	原田 賢一		香田 正晴		
			角田 宏明	大山 賢治		原田 賢一	
血液 腫瘍内科		足立 康二	足立 康二	足立 康二		足立 康二	完全予約制
		梅田 未来	前垣 雅哉	但馬史人[第2・第4]		河村 浩二	
	専門 外来			フォローアップ			[診療時間] 13時～14時(予約制)
循環器内科			福木 昌治	福木 昌治		福木 昌治	
	専門 外来	福木 昌治			久留 一郎		[診療時間](月曜日): ペースメーカー外来 13時30分～予約制 [診療時間](木曜日): 高血圧・高尿酸血症外来 午前中
糖尿病・ 代謝内科		角 啓佑	石井有李子	角 啓佑	石井有李子	伊藤 祐一	初診は紹介のみ
緩和ケア内科		八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	八杉 晶子	※新患は要予約
腎臓内科		山本真理絵	眞野 勉		眞野 勉		
神経内科						守安正太郎	初診は紹介のみ
健診		須田多香子	須田多香子	須田多香子	須田多香子	久留 一郎	事前予約のみ ※乳がん・子宮がん検診を除く
小児科	午前	山崎隼太郎	佐々木佳裕	上山 潤一	山崎隼太郎	佐々木佳裕	[診療時間] 8時30分～
	午後	佐々木佳裕	山崎隼太郎	交替医[急患のみ]	佐々木佳裕	上山 潤一	[診療時間] 15時～17時
	専門 外来		佐々木佳裕 [アレルギー]	交替医 [乳児健診] [予防接種]	検 査		[診療時間] 午後～ ※詳細な時間は お問い合わせください
消化器・ 一般外科		奈賀 卓司	交替医	菅澤 健	谷口健次郎	山本 修	
		尾崎晃太郎					
	専門 外来			ストーマ			第1,3週のみ 予約制 [診療時間] 13時～16時
胸部・ 乳腺外科		万木 洋平	万木 洋平	万木 洋平	交替医	万木 洋平	
			引野愛莉香			引野愛莉香	
	専門 外来	リンパ浮腫		リンパ浮腫		フットケア	予約制 ※リンパ浮腫は 月・水曜日の午前中のみ
整形外科		南崎 剛	遠藤 宏治	大槻 亮二	南崎 剛 (最終木曜休診)	津田 歩	
		遠藤 宏治	林原 雅子	津田 歩	大槻 亮二	林原 雅子	
	専門 外来	南崎 剛	遠藤 宏治		南崎 剛 (最終木曜休診)		骨軟部腫瘍
	専門 外来		林原 雅子		大槻 亮二	林原 雅子	火曜:関節リウマチ外来 木曜:関節外科外来 金曜:手の外科外来
泌尿器科		磯山 忠広		磯山 忠広	磯山 忠広	磯山 忠広	
		大松留実子	田村 丈	守安絵美佳	守安絵美佳	守安絵美佳	
放射線科		杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	杉原 修司	
	専門 外来	坂口 弘美	吉田 賢史				放射線治療(完全予約制)
歯科口腔外科			川崎 誠	川崎 誠	川崎 誠	小谷 勇	※金曜日は要相談
耳鼻咽喉科		山本 祐子	交替医		交替医		
眼 科			三宅 敦子		三宅 敦子		
婦人科		交替医				交替医	7月～12月のみ月・金

時間 (診療受付) 8時30分～11時 (健康診断受付) 毎週火・水・金／予約制



国立病院機構 米子医療センター

〒683-0006 鳥取県米子市車尾4丁目17番1号
TEL.0859-33-7111(代) FAX.0859-34-1580(代)

診療情報提供書:FAXによる紹介状の送信先

地域医療連携室

直通FAX:0859-37-3931
直通TEL:0859-37-3930